

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	診療所事務事業		会計区分	1	一般会計		所管部署	市民課					
事業番号	5475		予算科目	4	款	1 項 8 目	衛生費	シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度		
評価の種別	☒ 詳細評価		☐ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）					所属長名	高橋	高橋	野間		
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造											
	基本施策	生涯にわたる健康づくり											
根拠法令等	伊予市財産の交換、譲与、無償貸付に関する条例												
関係する計画等													
事業の目的【ゴール】	対象	佐礼谷診療所、下灘診療所											
目指すべき姿を簡潔に	意図	地域医療の継続的な提供体制を支えるため、市が無償貸与している佐礼谷診療所および下灘診療所並びに両診療所医師住宅の施設維持管理を行う。本事業は、施設の機能維持と安全確保を目的としており、診療所の安定運営に資するものである。											
事業内容【アクティビティ】	市が無償で貸与している佐礼谷・下灘診療所および医師住宅の施設維持管理を行っている。佐礼谷診療所では、毎年消防設備等の保守点検（総合点検・機器点検）を実施し、施設の安全確保を図っている。また、災害等の不可抗力による損傷に対しては、必要に応じて補修を行っている。												
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか													
事業の実施方法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金等 ☐ その他（ ）												
連携事業及び関連事業の有無	☐ あり（以下に記載すること） ☒ なし												
	事業番号	事務事業の名称				事務事業の概要							
本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性	☐ ゴール 1	貧困をなくそう				☐ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに				☐ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を	
	☐ ゴール 2	飢餓をゼロに				☐ ゴール 8	働きがいも経済成長も				☐ ゴール 14	海の豊かさを守ろう	
	☒ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を				☐ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう				☐ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう	
	☐ ゴール 4	質の高い教育をみんなに				☐ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう				☐ ゴール 16	平和と公正をすべての人に	
	☐ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう				☒ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを				☐ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう	
	☐ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に				☐ ゴール 12	つくる責任つかう責任						

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断 現状維持	老朽化に伴う突発的な修繕の発生や、緊急対応による予算の不足が課題である。	限られた予算の中で効率的な修繕を行うため、診療所からの事前要望をもとに修繕の優先度を整理し、次年度予算編成時に計画的修繕を盛り込む。	診療所から収集した事前要望をもとに修繕内容の優先順位を整理した。これにより計画的な修繕を予算化・執行し、施設機能の維持を図ることができた。

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳							
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求		節	細節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に
									R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	
予 算	当 初 予 算	130	130	2,220	130	例 年 支 出 の あ る も の							
	補 正 予 算	2,206					需用費	修繕料	95	277	100	100	
	前年度から繰越						委託料		29	29	29	30	消防設備等保守点検業務委託
	予 備 費 等		215										
	計	2,336	345	2,220	130								
決 算	執 行 額	1,367	306	2,068									
	翌年度へ繰越												
財 源 内 訳	国庫支出金												
	県 支 出 金												
	地 方 債												
	そ の 他												
	一 般 財 源	1,367	306	2,068	130			工事請負費		1,243		1,939	
執行率（％）		58.5%	88.7%	93.2%		臨 時 的 な も の							
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）		58.5%	235.4%	93.2%									
正規職員の人工数		0.07	0.07	0.08									
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895			上記以外の事業費合計						一般事務費、上記で書き表せないもの
※ 執行額＋人件費		1,913	850	2,700			事業費の総計			1,367	306	2,068	130

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 4	目標実績	R 5	目標実績	R 6	目標実績	達成度		令和 4 年度の振り返り	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り
	指標①	修繕対応件数	件	—							事業把握のための実数	活動成果や課題等	佐礼谷診療所空調設備改修や下灘医師住宅修繕を実施し、機能維持を図ることができた。	下灘診療所医師住宅の修繕に加え、ひかり電話導入に向け診療所医師・工事業者とヒアリングを行い、円滑な対応ができた。軒樋修繕については、予備費対応となり、予算執行に課題を残した。	佐礼谷診療所のフェンスおよび照明設備の改修を実施し、安全性を確保するとともに省エネ性能を向上することで、施設機能維持に寄与した。
					1		2		1						
	指標②	修繕要望に対する対応率	%	↗	100		100		100		目標達成 (100%以上)				
					100		100		100						
	指標③	診療所等における工事（契約を伴う改修）実施件数	件	—							事業把握のための実数	課題への改善提案	老朽化箇所の把握と点検頻度の見直しを実施する。	財政制約の中でも必要性の高い修繕を優先できるよう、事前点検と関係者の意見聴取を実施する。	今後もエネルギー効率や耐久性を考慮した改修を計画的に進め、持続可能な維持管理体制を構築する。
					1		0		1						
	指標④	診療所との定期的な施設管理連絡・協議の実施回数	回	↗	4		6		6		目標達成 (100%以上)				
					4		10		8						

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R	4	目標実績	R	5	目標実績	R	6	目標実績	達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
	短期成果	修繕や工事により施設の安全性と機能性が確保される。	指標①	診療所からの施設に関する不具合報告件数	件		0		0		0		未達成 (50%未満)				
							2		2		1						
	中期成果	安定した施設環境により診療継続が円滑に行われる。	指標②	年間の平均往診実施回数	%		80		80		80		目標達成 (100%以上)				
							106		83		64						
	長期成果	地域住民が安心して利用できる医療提供体制の継続	指標③	1日の平均外来患者数	人		80		80		80		目標達成 (100%以上)				
							83		82		78						

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	3	評価点ランク		B	老朽化に伴う突発的な修繕や予算不足に対応するため、診療所からの事前要望を収集し、修繕内容の優先順位を整理した。これに基づき、令和6年度は高効率照明への改修など計画的な修繕を予算化し、施設機能の維持を図った。				
			市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である		2	A			9 ～ 10			
			サービス主体の妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべくで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべくで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない			3			C	5 ～ 6		
		有効性	成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100％以上の達成） 3 概ね達成できた（80％以上の達成） 2 やや達成がでなかった（50％以上の達成） 1 達成できなかった（50％未満の達成）	2	評価点ランク							
			成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない		3	S			11 ～ 12			
			市民等への影響	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない	3		A			9 ～ 10			
				4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない		3	B			7 ～ 8			
			効率性	手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである		3			評価点ランク			
				コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である	3				C	5 ～ 6		
		受益の適正性		4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	4		D			3 ～ 4			
				担当者									
		一次判定	自己判定結果の確定			☑ 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します				所属長の所見			
			貢献度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い			A	施設の老朽化による修繕が増加すると見込まれるため優先度を整理する必要がある。 施設の維持管理という事業の目的から、令和8年度以降の評価の種別については、簡易評価（維持管理等）に変更する。		
				A		高い	B					普通	
	重要度		S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	C		低い	A						
		D	非常に低い										
	所属長												